



活動報告：平成27年度全道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会が開催されました

9月5日（土）：里親交流会

大会前日の18時から里親交流会が中央地区里親会の主催で開催されました。会場は南の樽前山から北は手稲山まで一望できる眺めがご自慢のクラッセホテル12階レストラン、太田会長の



の挨拶に続いて中央地区の子どもたちの「いただきます！」の発声でスタート、バイキング形式で好みの料理を食べながら、また辛党の大人はそれぞれ得意のアルコールを飲みながら、道内各地の里親と児童相談所や養護施設の職員および支援者が和気あいあいに交流し、親睦の時間を過ごしました。



これまでの交流会では太鼓や器楽の演奏などの趣向を凝らしたアトラクションが催されていましたが、今回は出来るだけ参加者どうしの話し合いの時間をとれるように音曲は無くし、代わって植田美知代さんにバルーンアートの実演をしていただきました。くま、犬、剣など変幻自在に作られる風船



の作品に子どもたちは大喜びで次々にリクエストしていました。終わりに十勝地区里親会の中野事務局長が次期開催地として大勢の参加を待っていますと挨拶があり、盛会のうちに幕を閉じました。



9月6日（日）：里親研修大会

「共に生きよう、この広い世界は君のもの」を大会スローガンとして、約250名が参集した研修大会は、この一年間に亡くなられた里親および関係者に感謝を捧げご冥福を祈る黙とうで始まりしました。寺山道里連会長の式辞、北海道知事（代読）および木内全国里親会副会長による来賓挨拶に続いて、北海道知事表彰（北海道善行賞）と道里連会長表彰の授賞式が行われました。中央地区からは太田正一・宣子（北広島市）さんと富樫孝志・和子（余市町）さんが道里連会長表彰を受賞されました。日ごろの子どもたちへの愛情と養育に尽くされた努力に敬意を表します。さらに、大会運営に多大なご支援をいただいた北広島市の上野市長からご祝辞をいただきました。





特別講演「子どもの生きる力を支える」 坂本 洋子 さん

1985年(昭和60年)に東京都で養育里親となり、1999年(平成11年)にはファミリーホームに認定、これまでの30年間に17名の里子を受託し、現在は2歳から19歳までの6人の子どもたちと暮らしている坂本さん、障害のある子どもたちにこそ家庭生活を味わって欲しいと、あえてハンディのある子どもを希望して受け入れて、困難が大きいほど大きな喜びと感動が得られた体験を語っていただいた。



子どもから見た家庭の良さは、24時間いつも一緒、帰る場所がある、自分の味方になってくれて、自分を信じて、甘えを受け止めてくれる人がいること。しかし、人が人を支える、育てるのはたやすいことではなく、何度も失敗し、何度も自問自答を繰り返してきたこと、行政は数年だが里親が縁が出来たら一生のことであり、その重みを背負っていくことが求められていることが必要。

仕事ではない「里親という生き方」はたやすくはないが、この世のたった一人の大切な大人にしてもらった有り難さと、「坂本さんに会うために頑張ってきたんだね」という言葉で報われた。子どもはみんな幸せになりたくて生まれてくる、「支え」を必要としている子どもに愛情を注ぐことで一人の子どもの人生が大きく変わる役を担っているのが里親であるとのお話しに、会場から盛大な共感の拍手が寄せられました。

シンポジウム「様々な視点から子どもたちの養育を考える」



中央児童相談所の栗本信明所長がコーディネータとして進行を務め、パネリストとして田中康雄さん(こころと育ちのクリニックむすびめ院長)、北川聡子さん(社会福祉法人麦の子施設長)、Kさん(元里親委託児童)から、それぞれの立場で考える子どもたちの養育について話題の提供があり、それらをもとに助言者の坂本洋子さんおよび会場の参加者も交えて質疑と討論が行われました。

様々な生きづらさを感じながら生きている子どもたちに対して、社会的養護として日々の生活を応援することが求められているが、日々の現場ではあまりにも遅々として変化しにくい実態に疲弊が深まっている。それでも、生活を応援するという事は、相応の時間をかけ、あきらめることなく子どもたちに向き合い、大人たちがひたむきに生きる姿を見せること、生きがいを見せることが大切であるという田中さんの言葉が心に残りました。また、豊かに見える日本の社会の陰で生きにくさを抱えて苦しんでいる、とくに女性や子どもなどの弱者の困難に周囲が早く気づき、支援の手をさしのべる必要性を北川さんが訴えました。

来年の全道里親研修大会は十勝川温泉で・・・

最後に十勝地区里親会の白木会長から、盛りだくさんの企画を用意しているので、大勢の皆さんが十勝川温泉で開催する全道里親研修大会にぜひ来ていただきたいとの挨拶がありました。

